

※市内は、市外局番 0287 を省略した表記にしています。

「ひよこの会」参加者募集

育児の勉強や趣味の講座などを通して仲間作りをサポートする「ひよこの会」(育児の学びの会)。

学習中は保母グループがお子さんを預かりますので安心して受講できます。一部、親子で参加する内容があります。

▼とき 12月までの原則第2・4木曜の午前(全12回)

※6月から開講中。

▼ところ 三島公民館

▼内容 保育講座・親子遠足・趣味の手作り講座・人形劇鑑賞・音楽鑑賞・調理講座など

▼対象 市内在住で1歳〜就園前の幼児を持つ母親と子

▼参加費 4千円(子ども1人)

※保育補助費・おやつ代・保険料・講座補助費として。

▼定員 20組

※定員になり次第締め切り。

▼申込方法

電話または窓口にて申し込み

▼申し込み・問い合わせ

○三島公民館 (36)8531



家族介護教室

現在、介護をしている人を対象に、介護者自身の健康管理の重要性について学習します。介護者同士の交流の機会もあります。

▼とき 7月12日(木)

午後1時30分〜3時

▼ところ 東那須野公民館

▼講師 真船一夫 氏

(NPO法人ひなた)

▼対象 現在、家族などの介護をしている人

▼参加費 無料

▼定員 30人

▼申込方法

電話で申し込み

▼申込期限 7月10日(火)

▼申し込み・問い合わせ

○高那須福祉課 ☎(62)7327

手話教室

「手話を市民に広めよう」

初めて手話を覚えたい人や手話に興味のある人を対象に、誰でもできる日本手話の教室を開催します。

▼とき

7月9日(月)から毎週月曜(全29回)

午後6時45分〜8時45分

※都合の良い日のみの参加も可。

矢板東高等学校附属中学校の説明会を開催します

▼とき 7月29日(日) 午前10時30分〜正午

▼ところ 矢板市文化会館大ホール

(矢板市矢板103-1)

▼内容 教育内容・学校生活の概要や平成31年度入学者選考など

▼対象 小学生、保護者、関係機関など(参加資格・条件なし)

※小学生のみ、保護者のみの参加も可能。

▼定員 千人

※申し込み不要。

▼その他 駐車場の混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関を利用してください

▼問い合わせ

○矢板東高等学校附属中学校

☎0287(43)1243

福祉

戦没者遺児による慰霊友好親善事業

先の大戦で父などを亡くした、戦没者遺児を対象とする慰霊追悼の参加者を募集します。

▼実施地域

①東部ニューギニア

- ②西部ニューギニア
- ③北ボルネオ・マレー半島
- ④マリアナ諸島
- ⑤トラック・パラオ諸島
- ⑥フィリピン
- ⑦ソロモン諸島
- ⑧ミャンマー・タイ
- ⑨台湾・バシー海峡
- ⑩マーシャル・ギルバート諸島
- ⑪中国

▼参加費 10万円

▼問い合わせ

○日本遺族会事務局 ☎03(3261)5521

塩谷看護専門学校オープンキャンパス

学校説明、看護技術の体験、在校生との懇談会などを予定しています。

▼とき

7月14日(土)、8月7日(火)・25日(土)

午前9時10分〜11時50分

▼ところ

国際医療福祉大学塩谷看護専門学校

(矢板市富田77-6)

▼申し込み・問い合わせ

○国際医療福祉大学塩谷看護専門学校 ☎0287(44)2322

▼申し込み・問い合わせ

○那須赤十字病院がん診療対策推進室 ☎0287(23)1122

民生委員・児童委員を紹介しします

民生委員・児童委員はそれぞれの担当地区で高齢者、障害者、児童、生活に困っている人の相談などを行い地域福祉の推進を担っています。

6月1日付けで厚生労働大臣から委嘱された新任の委員を紹介します。



地区：日新
区域：東栄二丁目
氏名：大平眞雄氏
連絡先：☎090(6939)5004



地区：日新
区域：原町
氏名：栗野健夫氏
連絡先：☎(64)1080



地区：東那須野
区域：北弥六(上)
氏名：安藤義孝氏
連絡先：☎090(9319)3859

○社会福祉課 ☎(62)7135

広告

北関東最大級の産業廃棄物中間処理施設で、
廃棄物の資源化・有効利用に努めています。

工場排水 ISO取得 ASR 環境省優良産廃処理業者認定 燃え殻資源化 80%以上

那須総合リサイクルセンター

東武商事株式会社 那須総合リサイクルセンター 〒329-2741 栃木県那須塩原市北赤田 1575-9
TEL: 0287-39-7182 FAX: 0287-39-7186 <北関東事業本部>

那須塩原の魅力をお届けするラジオ番組
Radio Berry 76.4FM
エールなすしおばら
毎週土曜 午前8時25分〜55分

那須塩原でさまざまな取り組みをしている方をクローズアップ。その方の楽しみや想いを通して「まちの魅力」を見つけだし、その方に「エール」を送っていきこうというプログラムです。

パーソナリティ
岡田 眞善
(市まちづくり大使)